

備前市事務事業評価シート

事業の概要		平成17年度					
事業開始年度							
総合計画	大項目	基本構想	01	重点政策「教育」	根拠法令・例規等	備前市小児医療費給付条例	
	中項目	基本計画	01	将来を担う人材が育つまち	担当課(室)	保健課	
	小項目	施策	04	子育て不安の解消	職・氏名	保険医療係・田淵美保子	
事務事業名	11	小児医療費助成事業		電話	0869-64-1819	このシート作成に要した時間	1.5 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	中学生以下の小児	
目的(何のために)	中学生までの小児に係る医療費(保険診療分)の自己負担額を支給し、保護者の経済的負担軽減を図ることにより、健康保持及び増進に寄与するとともに子育て支援に資する。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	小児が安心して医療機関で受診する機会を確保することで、健康保持の増進と子育て支援の向上	

事業の実績		Do
細事業名	事業の説明	優先度
小児医療費助成事業	中学生までの小児に係る医療費(保険診療分)の自己負担額を支給する。(小中学生の平成25年9月診療分までは、入院医療費のみを助成する。)	◎

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	直接事業費	千円	54,833	68,287	105,241
	必要人員	人	0.61人	0.46人	0.45人
	費用対効果	費用計	59,649	70,824	108,104
財源	国県支出金	千円	17,940	17,392	17,842
	受益者負担				
	経入金				
	その他()				
一般財源	千円	41,709	53,432	90,262	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
医療費支給件数	説明	1件当たり単価			
結果指標	結果指標量	26,479	34,120	103,394	
	対前年比	100.0	100.0%	303.0%	
	活動コスト	59,649,000	70,824,000	109,286,000	
	単位当たりコスト	2,253	2,076	1,057	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
成果指標名	目標値 (A)		8	8	9	9
	実績値 (B)		7.7	10.3	11	到達目標値
年間1人当たり支給件数	達成率 (B/A)		96.25%	128.75%	122.22%	9
成果指標設定の考え方・式や説明						
医療費支給件数/受給資格者数 適正な支給に努める必要があることから支給率を指標としている。平成22年10月から受給資格者が拡大(小学生を追加)したため、実績値が大きく変動している。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください>	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普通や低い や通や低い 高い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	A
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げ余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある	効率性評価 A B C D E 高や普通や低い や通や低い 高い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普通や低い や通や低い 高い
市民参画度		A	

事業の目的やその数値目標に留意しながら

進行年度(H25年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	平成24年10月から対象を中学校卒業までの生徒に拡大し、医療費の自己負担額全額を小児医療費助成事業として現物給付化しています。						

総合評価		総合評価
小児医療費助成は、子育て支援の一環として岡山県下全市町村が同様の事業を実施している。疾病にかかりやすい小児の子育て期間中の保護者の経済的な負担を軽減し、安心して医療が受けられる体制整備ができており、小児の健やかな成長に貢献している。		A

平成26年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	安定的に適正な制度運営に努めていく。						

Action